

COP17 サイドイベント傍聴報告

2011年12月12日

社団法人海外環境協力センター（OECC）

本傍聴報告は、2011年11月28日～12月9日に南ア・ダーバンで開催中の第17回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP17）において併催されたサイドイベントの傍聴記録です。

- タイトル：低炭素および気候変動に対応した社会づくり（“Low carbon and climate resilient society”）

- 日時：2011年12月2日（金）18：30-20：00
- 主催：タイ政府・（独）国際協力機構（JICA）
- 会場：Hex River
- スピーカー：スパット・ワンウォンワタナ タイ天然資源環境政策計画局（ONEP）局長、シリタン・パイロジ=ポリブーン タイ温室効果ガス管理機構（TGO）事務局長、リアン・コックフェイ マレーシア天然環境資源省環境管理気候変動局長、ソムチャイ・チャリアチャルン ムアंकラン市長、スティ ピサヌルーク副市長、唐沢雅幸 JICA 気候変動室長（ファシリテータ）

■ 概要

本サイドイベントでは、ASEAN 諸国において行われる低炭素社会および気候変動に対応した社会づくりの取組について紹介が行われた。

スパット ONEP 局長は、キーノートスピーチにおいて、最近タイを襲った水害を例にとり、気候変動問題はすでに現実も問題となっており、途上国の持続可能な開発の実現は、低炭素社会と気候変動に対応した社会づくりにかかっていると述べた。また、タイにおいては、ASEAN 地域をリードする形で関連する取組が精力的に行われており、今後他の開発途上国の手本となる可能性があることが強調された。

ソムチャイ市長は、ムアंकラン市における低炭素社会の取組として、廃棄物分野におけるメタンガス回収利用や分別回収による減量、家庭部門の省エネの取組や農産物の地産地消などのプログラムを紹介した。また、ムアंकラン市は ISO14000 の認証を取得しており、今後も包括的な環境の取組を進めていくと述べた。

スティ副市長は、ピサヌルーク市における廃棄物管理に導入されたゼロ・ランドフィル目標について紹介を行った。同市では、機械生物的廃棄物処理（MBT）の導入による廃棄物

減容の達成について触れ、地方自治体にとっては、温暖化対策とローカルな環境改善の実現の両方を重視した取組の推進が特に重要であると強調した。

リアン・コックフェイ局長は、「マレーシア国家気候変動政策およびその行動」についてプレゼンテーションを行った。コペンハーゲン合意の呼びかけに応じ、マレーシアは「国内における適切な緩和行動 (NAMA)」の策定を行っており 2020 年までに GDP 比で 40%削減を行うことを目標に掲げている。マレーシアを含む開発途上国において緩和対策を推進していくためには、単に GHG 削減ということだけでなく、貧困削減のようなコベネフィットがあることが取組の大きな推進力となると強調した。

シリタン TGO 事務局長は、「ボランティア炭素市場におけるコベネフィットモデルの導入」について紹介を行った。TGO では、国内の低炭素推進の取組として、カーボン・フットプリント認証制度の制度作りを行っており、近年、CDM、日本のオフセット・クレジット (J-VER) 制度や韓国における K-VER 制度、VCS をモデルにした、Thai Voluntary Verified Emission Reduction (TVER) 制度の構築を進めている。TVER は国内の温室効果ガス (GHG) 削減・吸収プロジェクトを認証し、クレジットとして発行をして流通を図るものである。現在は企業の CSR を対象にボランティア市場での取引を想定しており、GHG の削減とともにその他の社会的便益 (コベネフィット) を重視している。プロジェクト実施によるコベネフィットのランク付けを行い、企業が CSR 等への活用を行う支援したいと述べた。

■ 質疑

Q : TVER に対する民間企業の反応はどのようなものか？

A : 極めて関心の高いものとなっている。タイでも社会貢献をしようという企業は大きいことから、ボランティア市場に関する一定の需要があるもの考えている。現状においては、制度の構築準備段階にあるので、実際のクレジットが発行されるまでにはもう少し時間がかかる。

Q : 「低炭素社会・気候変動に対応した社会」について東南アジアの地方政府の関心は？

A : 高まってきているといえる。特に最近の洪水の影響で取組が加速化すると思われる。

(報告者 : OECC 加藤真)

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_COP17report.html